

県憲法会議第15回定期総会開く 戦争法廃止へ総力を 井上寛司 島根大学名誉教授が記念講演



県憲法会議は14日、松江市で第15回定期総会を開き、戦争法廃止に総力を尽くすなどの活動方針を決めました。(写真)吉儀和平代表委員が戦争法廃止のたたかいに触れ、「憲法会議がしまね総がかり行動実行委員会などで大きな役割を果たしたことを確信にしよう。改憲推進勢力に負けない運動の発展を」と呼びかけました。

池場哲哉事務局長は「国会の改憲勢力の割合と国民世論は真逆だ」と指摘し、教育や女性、労働など各分野での憲法を守り抜くための必要性について強調しました。

代表に三宅孝之・島根大名誉教授をはじめ、9氏の新役員を提案し、承認されました。

地域の話題 アタタタ

松江 中海再生と振興を 橋議員が質問

橋議員—ラムサール条約締結10年、これまで水質改善や水流れを取り戻す堤防開削を学業者や関係者が渴望してきました。中海の振興について、水質改善、漁業、地域振興など多面的に行き、学者、研究者や漁業者などを交えた本格的なシンポジウムの開催を要望する。

部長—これまで下水道整備や汚濁削減に取り組んできた。早急に汚濁メカニズムを解明し、国や県に水質改善の有効な対策を取るよう求める。シンポジウムの開催についても議論していく。(橘よしあきの

議会報告「より」

飯南 就学援助早期支給 伊藤議員が質問

伊藤議員—新入学の際の学用品費の支給は3月末日まで受け付け、支給は1学期中とされている。毎年11月頃に就学前検診が実施されており、これを機会に動き始めることも可能ではないかと考える。修学旅行の費用も、負担する前と後の支給では負担感に大きな差が出ると考えるが、どうか。

教育長—新入生の場合、早い時期に支給する方法がベターと考え、職員に検討を指示したところである。本年度中に要綱を改正し、対応したい。(伊藤好晴の議会

津 国保値上げ回避を 多田議員が質問

多田議員—2年連続で国保料が値上げされ、今年度平均11・2%の値上げとなっている。市独自の法定外繰入は高く評価すべきものであるが、厳しい経済状況にある市民の負担軽減には十分とは言えない。国保料を値上げしても市民は払えない状態となっている。一般会計からの法定外繰入を増やし、値上げを回避すべきではないか。

答弁—国保に加入していない市民には、前期高齢者交付金や一般会計からの法定外繰入で、すでに支えてもらっている。将来の国保加入者ではあるが、際限なく法定外繰入を行うべきではない。(「11」市民報「より」)

総会後、井上寛司・島根大名誉教授が「安倍政権の歴史認識」と題して記念講演し、「参院選で自公などの改憲勢力が3分の2以上の議席を獲得したことで、改憲に一気に動き出す危険性が高まった」と指摘。「一方で、市民と野党の共同の大きな前進によ

つて、日本の目指すべき方向が鮮明となり、未来への展望も大きく開けた」と話しました。

防衛局が県西部に騒音測定器追加へ 党、米軍低空飛行訓練中止を再三要請

防衛省中国四国防衛局は4日、米軍機の騒音被害が甚だしい県西部の益田市道川地区振興センター(匹見町)と日和公民館(邑南町)に騒音測定器を設置すると発表しました。設置完了は9月下旬とされています。県内には現在、浜田市旭町に設置されており、合計3台になります。

県は防衛・外務両省に5月17日、住民の苦情が多い地域の実態調査を早期に実施し、客観的なデータで飛行訓練の実態を明らかにするとともに、被害の解消に向けた具体的な取り組みなどを要望していました。

日本共産党国会議員団中国ブロック事務所は昨年10月22日防衛局に、8日には中国、四国両ブロック事務所として防衛省に米軍機低空飛行訓練の中止などを申し入れていました。(写真)

新しい地平を開いた参議院選挙 野党と市民の共同を見せる都知事選に

「住んでよし、働いてよし、環境によしの東京を」「困ったを希望に変える東京を」「憲法を守り抜くことは都知事の使命」「安倍政権は戦後最悪の内閣」と、旗幟鮮明な鳥越俊太郎さん。野党共同を何よりも大切に、高い政治決断をされた宇都宮健児さんもすばらしい。野党と市民の共同の力を見せる第二ラウンドの選挙でもあります。ゆるぎない共同の発展を全国に、世界に示したい。そして今度こそ都民の苦しみに心を寄せるクリーンで誠実な都政を、ごいっしょにつくりましょう。

議員 衆議院 元議員 元議員
春名なおあき
爽風
エッセイ



選挙中、人生をかけてたかう主権者の姿に数々出会いました。「83歳まで生きてきて、これほど大事な選挙はない。命がけでたたかう(五台山で)」「再び障害者がごくつぶしなどと言われる社会が来ないように人生をかけてあなたを応援する」(岡山



で)。候補者は、こうしたお一人おひとりの決意と行動を体現する使命があると肝に銘じて、元気にたたかい抜くことができました。

激闘を終え、中国、四国9県の党と後援会のみならず、お礼のごあいさつを続けています。14日、高知では大西そうさんとともに各共産党県市議事務所、法律事務所、民主団体などをお訪ねしました。大勢の方が待ち受けてくださり無数のねぎらいを受け感無量。へこたれていない。この口惜しさをばねにただちに総選挙に向けて立ち上がる。口々に出される言葉。さすがに革新者の党と仲間です。7月15日は党創立94周年。久しぶりに孫の将人君に会いました。少し見ないうちに顔がわりりしくなっている、よくしゃべる、この年齢にしてはすごいぞ、と完璧じじバカの私でした。

(2016年7月24日付)